

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 大阪市

### （地域における現状・課題）

本市が実施した部活動に関する調査では、本市を志望する教員や勤務する教員にとって部活動は一定数負担を感じている一方で、魅力でもあるという現状がある。さらに、本市における直近10年間の運動部への入部生徒数は、少子化による生徒減を上回るペースで減少傾向である。本市では、中長期的に将来を展望すると、子どもの健康保持や体力向上のためにも、学校を単位とする運動部活動の更なる魅力化や抜本的なスキームの見直しを検討する必要がある。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：桜宮スポーツクラブ / 大阪市教育委員会

活動場所：5中学校、府立桜宮高等学校

指導者：中学校教員、高校教員、本市部活動指導員、トップアスリートなど

責任主体：大阪市教育委員会

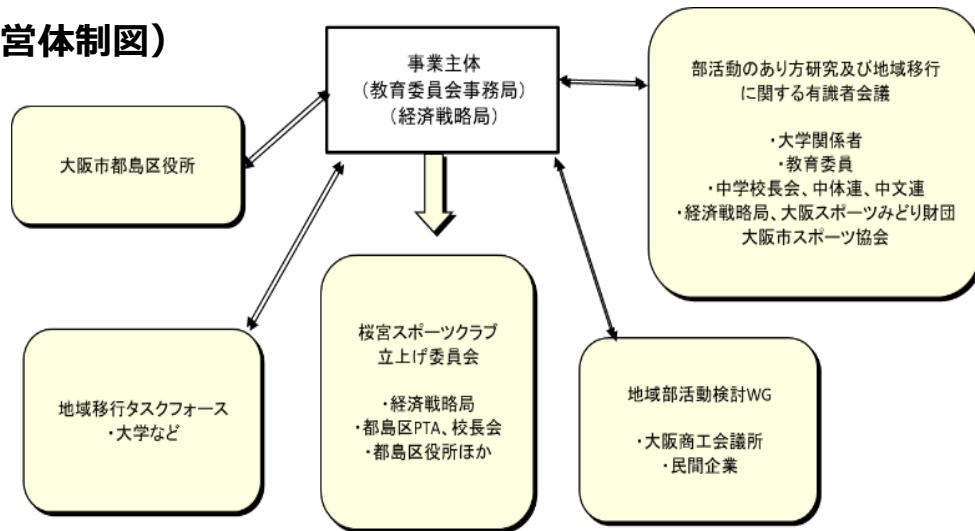
活動種目：バスケットボール、バレーボール、サッカー、陸上、ボート

特別企画(みんなの水泳教室・Danceのススメ)

### （実践研究の成果）

桜宮スポーツクラブでは、高校教員のほか中学校教員や区内在住の教員が兼職兼業で指導者となり、部活動指導員、トップアスリート、スポーツチームコーチなど30名が登録。休日の指導を望まない教員の休日の部活動への従事を0%、参加生徒の約82%の生徒が「休日の地域部活動が充実している」と肯定的に回答し、充実した活動となった。近隣校タイプなど合同部活動・拠点校方式の実施とあわせて、来年度のモデル拠点の拡大など地域連携・地域移行の検討を進めることができた。

### （運営体制図）



### （桜宮スポーツクラブの3つのタイプ）

